

平成 22 年度事務事業等の外部評価（杉並版「事業仕分け」） 評価結果

杉並区では、新たな区政の展開に向けて、これまでの区政を検証する取り組みの一環として、事務事業等の外部評価(杉並版「事業仕分け」)を11月14日(日)・15日(月)に実施しました。区民の関心度を考慮し、選定された8事業の1つに、「子育て応援券」が挙げられました。

評価結果は次のとおりです。今後、対象事業の見直しを行い、予算編成および行政計画の策定などに反映させます。

子育て応援券

今後の方向性	事業の方向性	廃止を含めた抜本的な見直し
	事業の改善	事業内容の変更 実施方法の変更
評価（理由等）	<p>子育て支援のコミュニティ形成を目指し、用途を限定したバウチャーとして交付してきた子育て応援券を、本年10月から、国の「子ども手当」と連動させた有償交付に転換したことで、その目的・性格が分かりにくくなっている。</p> <p>子育て応援券については、有償化が同応援券の購入や利用の動向に与える影響を把握した上で、事業の目的と効果等を検証し、改めて、子育て支援策全体の中での位置づけ等を抜本的に見直す必要がある。</p>	